

令和6年度の旭川市役所の事務事業による温室効果ガス総排出量について

旭川市環境部

1 旭川市の事務事業により発生した温室効果ガス総排出量

- 令和6年度の温室効果ガス総排出量は、90,062.2 t-CO<sub>2</sub>となり、前年度比-3.2%となりました。

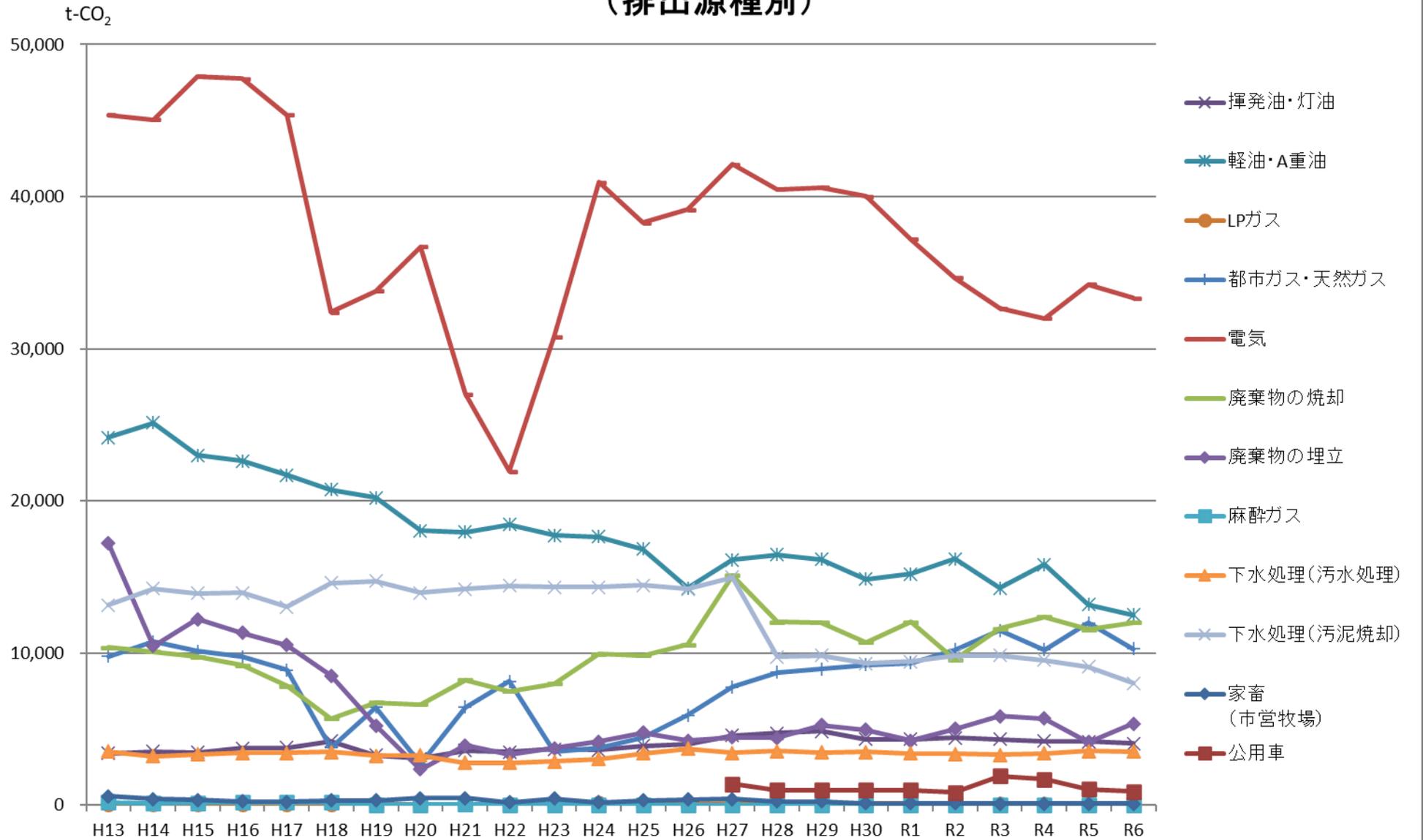
(単位 t-CO<sub>2</sub>)

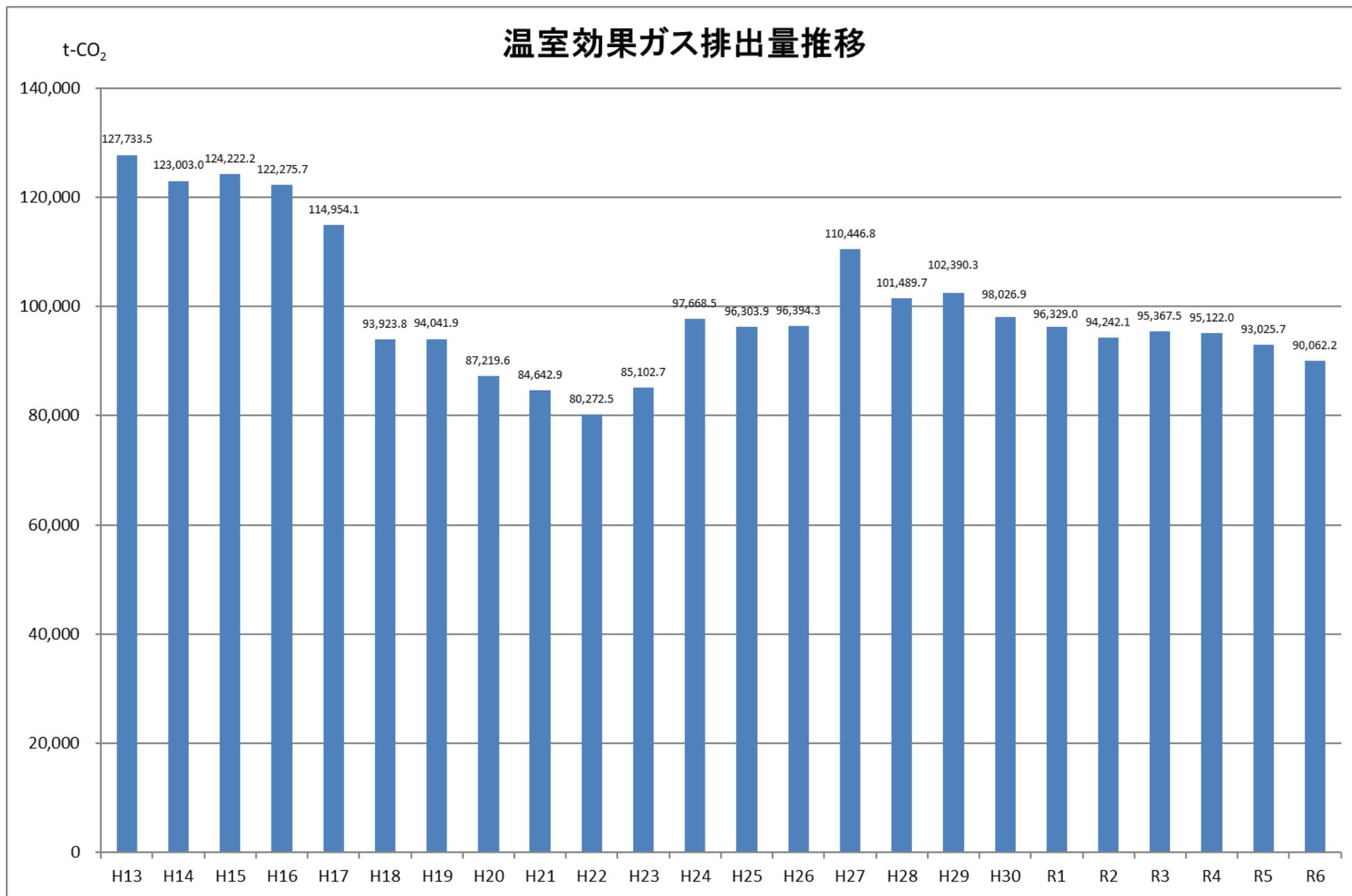
	令和6年度	令和5年度
揮発油・灯油	4,047.3	4,173.0
軽油・A重油	12,486.9	13,173.6
LPガス	68.1	68.8
都市ガス・天然ガス	10,263.8	11,960.8
電気	33,328.3	34,218.9
廃棄物の焼却	11,999.8	11,552.7
廃棄物の埋立	5,344.4	4,129.9
麻酔ガス	0.0	0.0
下水処理(汚水処理)	3,518.5	3,545.3
下水処理(汚泥焼却)	8,016.5	9,088.7
家畜(市営牧場)	88.1	81.2
公用車	900.5	1,032.8
合計	90,062.2	93,025.7
前年度比	-3.2%	—

2 主な増減要素と分析

- 主な減少項目は、都市ガス・天然ガス、公用車です。使用量の減少等により、温室効果ガス排出量が減少しました。
- 主な増加項目は、廃棄物の埋立です。廃棄物処分場に搬入された廃棄物量の増加等により、温室効果ガス排出量が増加しました。
- 前年度と比較し温室効果ガス排出量は2,963.5t-CO<sub>2</sub>の減少となりました。

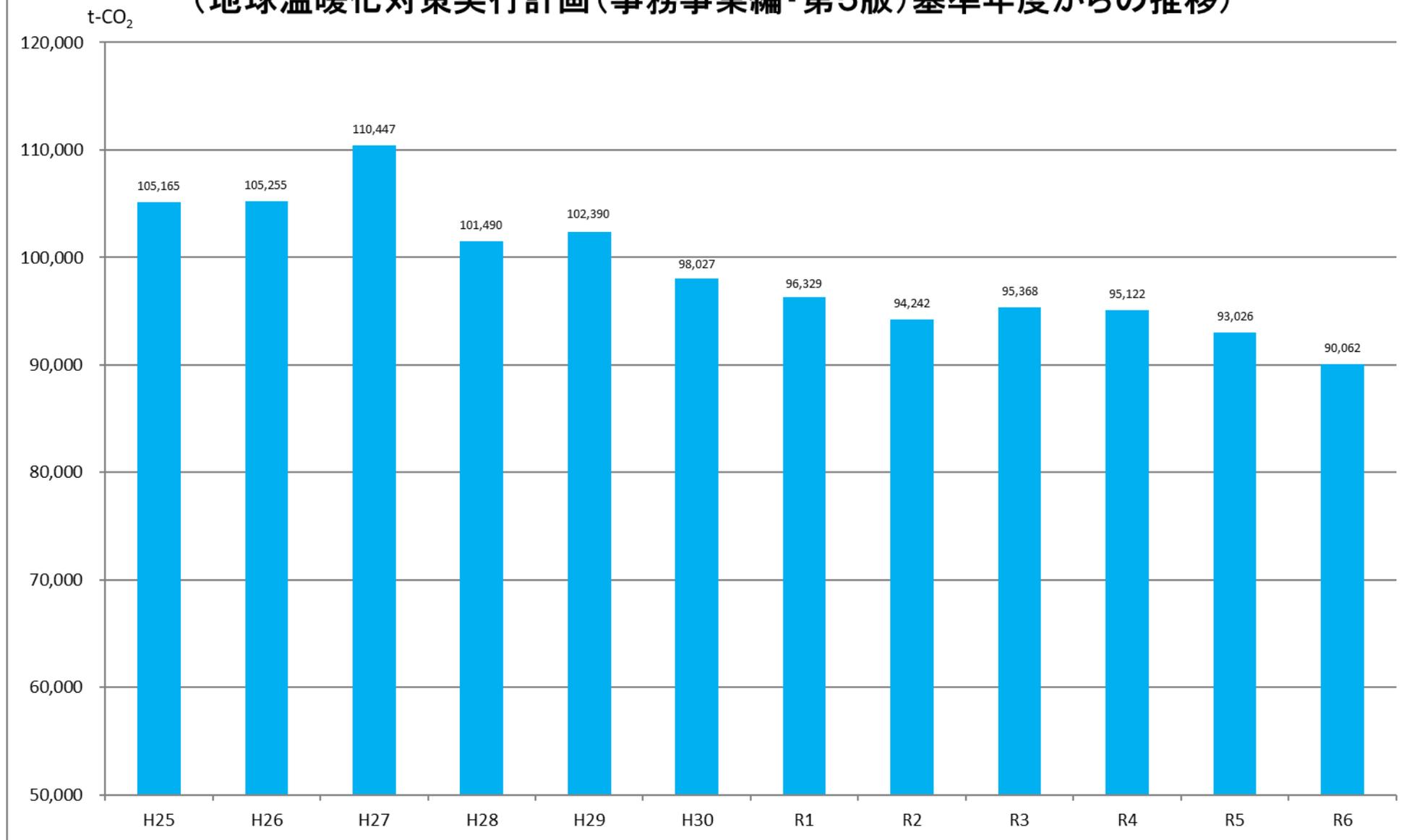
# 温室効果ガス排出量推移 (排出源種別)





※H27 から算定方法が変更となりましたが、H26 以前は既公表値のままとしています。

## 温室効果ガス排出量推移 (地球温暖化対策実行計画(事務事業編・第5版)基準年度からの推移)



※H25、H26の排出量はH27以降の算定方法にて算定した数値です。